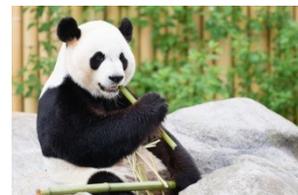


寅さん歩 その18

東京の学食めぐり-26



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者からの要望で始めた「東京都にある大学の学食めぐり」です。最近是一般の人も食べられる学食が増えています。

このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。

メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のものです。

右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないよう注意したいです。最寄り駅は代表例です。

今回は偶然に出会った二つの大学キャンパスの学食を訪問します。

中央線の車窓から帝京平成大学の名前の建物を見つけて、中野駅で降りました。中野駅北口広場はすっかり整備されていました。右手に中野サンプラザ・中野区役所を見て、中野四季の森公園の先は写真下の光景でした。江戸時代この地は生類憐みの令で有名な5代将軍 徳川綱吉のお囲い犬屋敷、戦前は陸軍中野学校、戦後は警察大学校があり、その跡地が再開発されました。



左に明治大学、右に帝京平成大学の校舎が並んでいます。

電車からは大学名が前面になかった明治大学は気づきませんでした。

〔帝京平成大学 中野キャンパス〕 中野区中野 4-21-2

最寄り駅 JR中央線 中野駅北口

これまでに明治大学(学食めぐり-8)・大正大学(学食めぐり-1)・昭和大学(学食めぐり-22)と年号が付いた大学を訪問しました。

次の平成大学をネットで検索すると東京にある大学として帝京平成大学が出て来ました。いずれ訪問と予定していた所、中央線の車窓から校舎を見つけました。ネット検索で他に出てきたのは埼玉県加須市の平成国際大学、広島県福山市の福山平成大学でした。

帝京平成大学は帝京大学(学食めぐり-10)創設者の沖永荘一により昭和62年(1987年)帝京技術科学大学として開設され、平成7年(1995年)学部増設に伴い、帝京平成大学に改称されました。**建学の精神の実学教育**を基本として社会に出てから即戦力となる技能が身に付く実戦的な実習や講座を展開し、医療、健康、福祉、情報、教育を専門とする都市型の大学になりました。

中野キャンパスは平成26年(2013年)に開設され、薬学部、現代ライフ学部(人間文化学科・経営マネジメント学科・児童学科・観光経営学科)の学生が学びます。この他に池袋キャンパス(本部、ヒューマンケア学部、健康メディカル学部)や千葉県に千葉キャンパス・ちはら台キャンパスがあります。写真下左は中野キャンパス校舎入口、写真下右は学食入口で校舎の左側を進んだ裏側にあります。

ガードマンによると一般の人の学食利用は13時~16時とのこと。



写真下左はメニュー棚と本日のメニュー一覧表(青は食券休止中)





麺と具が別々になっている冷やし中華
390 円を注文。

おねえさんに食べ方を聞くと、「ご自由にどうぞ」との返事でした。

学食の隣の敷地は明治大学中野キャンパスで明治大学の学食への近道でした。帝京平成大学の学食の出口にビラの掲示がありました。「明治大学から帝京平成大学の皆様へ 11 時 50 分～12 時 30 分は明大生優先です」

[明治大学 中野キャンパス] 中野区中野 4-21-1

最寄駅 JR 中央線 中野駅北口

明治大学駿河台キャンパス及び和泉キャンパスは学食めぐり-8 で訪問しています。大学概要はそちらを参照願います。
写真下左は高層棟（14F）、写真下右は隣の低層棟（5F）の後ろ側です。両棟は 1F で繋がっています。学食は低層棟の 1F です。



隣の帝京平成大学との位置関係は写真右の通りです。右が明治大学 左が帝京平成大学の校舎です。





日替りメニューからオムライスのミートソース 390 円を選びました。

定食は 300 円～400 円、麺類は 200 円～300 円です。

平日の営業時間は 10 時 30 分～19 時 30 分、12 時 15 分～13 時 15 分は明大生優先の掲示がありました。これは一般向けのようで、帝京平成大学生にはお隣のよしみで 11 時 50 分～12 時 30 分は明大生優先と配慮しているようですね。

中野キャンパスでは国際日本学部、総合数理学部の学生が学びます。

今回は車窓から見た光景から大学は一つかと思いましたが、現地では二つの新しいキャンパスの学食が楽しめました。

寅次郎、若い頃の教育で受けたウォークラリーでの「現地・現物主義」の大切さを思い出しました。コマ図情報を片手に夜中にチェックポイントを探して歩き、チェックポイントで指示された次の情報（次のチェックポイントまでの歩く速度も含む）に従い、ゴールまでの所定タイム（チェックポイント間のタイムも含め）との差を競うウォークラリーでした。翌日、昼間に再度コースを歩き、地形も含めた実際の状況を知り、何事も現場で事実を見ることが重要で現地に行かないと事実は分からない！と反省点をまとめたものです。

寅次郎の早とちりや勘違いはここで学び、改善したはずだったのに・・・

でも「寅さん歩」は自己の成長に役立つと、今だ成長途上の寅次郎、ご満悦でした。

次回は 東京に こんなところ-21 です。

平野 寅次郎 拝